（参考様式）

（第二面）

［Ａ 建築物のエネルギー消費性能を向上させる変更］

|  |
| --- |
| ・変更内容は、□チェックに該当する事項となる |
| □ ① 建築物の高さ又は外周長の減少  □ ② 外壁、屋根又は外気に接する床の面積の減少  □ ③ 空調負荷の軽減となる外皮性能の変更  □ ④ 設備機器の効率向上・損失低下となる変更  □ ⑤ 設備機器の制御方法の効率向上・損失低下となる変更  □ ⑥ エネルギーの効率的利用を図ることのできる設備の新設又は増設  □ その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 ） |
| ・上記□チェックについて具体的な変更の記載欄 |
|  |
| ・添付図書等 |
|  |
| （注意）変更内容は、該当するものすべてにチェックをすることとし、チェックをした事項については、具体的な変更内容を記載した上で、変更内容を示す図書を添付してください。 |

（参考様式）

（第三面）

［Ｂ 一定以上のエネルギー消費性能を有する建築物について、一定範囲内でエネルギー消費

性能を低下させる変更］

|  |
| --- |
| ・変更前のＢＥＩ＝（ ）≦0.9 |
| ・変更となる設備の概要 |
| □ 空気調和設備  変更内容記入欄 |
| □ 機械換気設備  変更内容記入欄 |
| □ 照明設備  変更内容記入欄 |
| □ 給湯設備  変更内容記入欄 |
| □ 太陽光発電  変更内容記入欄 |
| ・添付図書等 |
|  |
| （注意）変更となる設備は、該当するものすべてにチェックをすることとし、チェックをした設備については、変更内容記入欄に概要を、変更内容説明書Ｂ 別紙に必要事項を記入した上で、変更内容を示す図書を添付してください。 |

（参考様式）

（第三面　別紙）

［空気調和設備関係］

|  |
| --- |
| 次に掲げる（１）、（２）のいずれかに該当し、これ以外については「変更なし」か「性能が向上する変更」である変更。 |
| （１） 外壁の平均熱貫流率について５％を超えない増加 かつ窓の平均熱貫流率について５％を超えない増加 |
| 外壁の平均熱貫流率について５％を超えない増加 |
| 変更内容　 　□断熱材種類　　 □断熱材厚み  変更する方位　　 □全方位　　 □一部方位のみ（方位 ）  変更前・変更後の平均熱貫流率  変更前（　　　 ） 変更後（　　　 ） 増加率（　　　 ）％ |
| 窓の平均熱貫流率について５％を超えない増加 |
| 変更内容 　　□ガラス種類　　 □ブラインドの有無  変更する方位 　　□全方位 　　□一部方位のみ（方位 ）  変更前・変更後の平均熱貫流率  変更前（ 　　　） 変更後（　　　 ） 増加率（ 　　　）％ |
| （２） 熱源機器の平均効率について10％を超えない低下 |
| 平均熱源効率（冷房平均ＣＯＰ） |
| 変更内容 　　□機器の仕様変更　　 □台数の増減  変更前・変更後の平均熱源効率  変更前（　　　 ） 変更後（　　　 ） 減少率（　　　 ）％ |
| 平均熱源効率（暖房平均ＣＯＰ） |
| 変更内容　　 □機器の仕様変更 　　□台数の増減  変更前・変更後の平均熱源効率  変更前（　　　 ） 変更後（　　　 ） 減少率（　　　 ）％ |

（参考様式）

（第三面　別紙）

［機械換気設備関係］

|  |
| --- |
| 評価の対象になる室の用途毎につき、次に掲げる（１）、（２）のいずれかに該当し、これ以外については「変更なし」か「性能が向上する変更」である変更。 |
| （１） 送風機の電動機出力について10％を超えない増加 |
| 室用途（　　　 ）  変更内容　　 □機器の仕様変更　　 □台数の増減  変更前・変更後の送風機の電動機出力  変更前（ 　　　） 変更後（　　　 ） 増加率（　　　 ）％ |
| 室用途（　　　 ）  変更内容　　 □機器の仕様変更　　 □台数の増減  変更前・変更後の送風機の電動機出力  変更前（ 　　　） 変更後（　　　 ） 増加率（ 　　　）％ |
| （２） 計算対象床面積について５％を超えない増加（室用途が「駐車場」「厨房」である場合のみ） |
| 室用途（　駐車場　）  変更前・変更後の床面積  変更前（　　　 ） 変更後（　　　 ） 減少率（　　　 ）％ |
| 室用途（　厨 房 ）  変更前・変更後の床面積  変更前（　　　 ） 変更後（　　　 ） 減少率（　　　 ）％ |

（参考様式）

（第三面　別紙）

［照明設備関係］

|  |
| --- |
| 評価の対象になる室の用途毎につき、次に掲げる（１）に該当し、これ以外については「変更なし」か「性能が向上する変更」である変更。 |
| （１） 単位面積あたりの照明器具の消費電力について10％を超えない増加 |
| 室用途（　　　 ）  変更内容　　 □機器の仕様変更　　 □台数の増減  変更前・変更後の単位面積あたりの消費電力  変更前（ 　　　） 変更後（　　　 ） 増加率（　　　 ）％ |
| 室用途（　　　 ）  変更内容　　 □機器の仕様変更　　 □台数の増減  変更前・変更後の単位面積あたりの消費電力  変更前（ 　　　） 変更後（　　　 ） 増加率（　　　 ）％ |
| 室用途（　　　 ）  変更内容　　 □機器の仕様変更　　 □台数の増減  変更前・変更後の単位面積あたりの消費電力  変更前（ 　　　） 変更後（　　　 ） 増加率（　　　 ）％ |
| 室用途（　　　 ）  変更内容　　 □機器の仕様変更　　 □台数の増減  変更前・変更後の単位面積あたりの消費電力  変更前（ 　　　） 変更後（　　　 ） 増加率（　　　 ）％ |

（参考様式）

（第三面　別紙）

［給湯設備関係］

|  |
| --- |
| 評価の対象になる湯の使用用途毎につき、次に掲げる（１）に該当し、これ以外については「変更なし」か「性能が向上する変更」である変更。 |
| （１）給湯機器の平均効率について10％を超えない低下 |
| 湯の使用用途（　　　 ）  変更内容　　 □機器の仕様変更　　 □台数の増減  変更前・変更後の平均効率  変更前（ 　　　） 変更後（　　　 ） 増加率（　　　 ）％ |
| 湯の使用用途（　　　 ）  変更内容　　 □機器の仕様変更　　 □台数の増減  変更前・変更後の平均効率  変更前（ 　　　） 変更後（　　　 ） 増加率（　　　 ）％ |
| 湯の使用用途（　　　 ）  変更内容　　 □機器の仕様変更　　 □台数の増減  変更前・変更後の平均効率  変更前（ 　　　） 変更後（　　　 ） 増加率（　　　 ）％ |

（参考様式）

（第三面　別紙）

［太陽光発電関係］

|  |
| --- |
| 次に掲げる（１）、（２）のいずれかに該当し、これ以外については「変更なし」か「性能が向上する変更」である変更。 |
| （１） 太陽電池アレイのシステム容量について２％を超えない減少 |
| 変更前・変更後の太陽電池アレイのシステム容量  変更前　システム容量の合計値（　　 　）  変更後　システム容量の合計値（ 　　　）  変更前・変更後のシステム容量減少率（ 　　　）％ |
| （２） パネル方位角について30 度を超えない変更かつ傾斜角について10 度を超えない変更 |
| パネル番号（　　　　 ）  パネル方位角 　　□30 度を超えない変更 （　　　 ）度変更  パネル傾斜角 　　□10 度を超えない変更 （　　　 ）度変更 |
| パネル番号（　　　　 ）  パネル方位角 　　□30 度を超えない変更 （　　　 ）度変更  パネル傾斜角 　　□10 度を超えない変更 （　　　 ）度変更 |